

議会報告会実施報告書

開催日時	令和元年5月12日 午後3時00分～午後4時30分	開催会場	桜ヶ丘地区センター
出席議員	可児慶志、川上文浩、富田牧子、亀谷 光、林 則夫 伊藤健二、渡辺ひとみ、板津博之、田原理香、天羽良明		
班長	天羽良明		
参加者数	13人		
実施内容	平成31年度予算審査報告とテーマを中心とした意見交換		
質疑および 主な意見等	<p>&lt;1グループ&gt; 報告者 <u>天羽良明</u> 記録者 <u>板津博之</u>  <b>【マーノについて】</b>  意見「議会のトビラ」の説明で駅前にできた「子育て健康プラザマーノ」が開館し1年が経過したことについて触れたところ、一度孫を連れて遊びに行ってみたいとの意見。</p> <p><b>【防災について】</b>  質問1：火災放送が中止になったことについて  防災無線はもともと聴き取りにくいので、「すぐメールかに」で災害情報などを入手できるのであれば登録したい。ただし、高齢者の方はなかなか登録しないのでないか。  回答1：大雨など防災無線が聴き取りにくい場合には、市が行っているサービスで「防災無線」電話で確認サービスがあるので活用してもらいたい。ただし、現在通話料がかかるのでフリーダイヤルにするなどの要望を議会としてやっていきたい。</p> <p>質問2：防災無線は全ての自治体（市町村）に設置されているのか。  回答2：それぞれの自治体で設置しているので、お隣の犬山市のように防災無線が設置されていない自治体もある。そういった市町村はメールなどで災害情報を発信しているようである。</p> <p><b>【災害への備えについて】</b>  意見  ・桜ヶ丘ハイツには川も山（土砂災害指定区域）もなく災害も少ないので、防災に対する意識が低いように感じる。ただし、最近では太陽光発電施設が出来たことで豪雨に対する懸念があるが、具体的にどのように災害対策をしたらいいのかわからない。  ・自治会の避難訓練の時に要支援者の方が誰かわからないので声かけが出来ないなど困っている。</p> <p><b>【地域の見守り活動について】</b>  意見  ・現在、自治会の組長をやっているが、地区社協主催で民生委員さんがリーダーとなって地域の「見まわりウォーキング」をやっているのを助かっている。</p> <p><b>【路上駐車について】</b>  意見</p>		

・意見団地に路上駐車されていると災害時に緊急車両が入ってこられない。最近、地元で路上駐車が頻発していたので警察に相談して対応してもらったところ、路上駐車は解消された。

【民生委員の欠員について】

意見

・桂ヶ丘地区では現在民生委員が2名欠員している。今のところ、高齢化率は16%であり見守り対象者も少ないため、大きな問題とはなっていないが、災害時の要支援者への支援など先のことを考えると心配だ。

<2グループ> 報告者 伊藤健二 記録者 渡邊ひとみ

高齢者の暮らしがよくなるような、高齢者に真に必要な取り組みへの予算編成であってほしいとの観点から話し合いがされた。

【議会広報について】

意見

・議会のトビラの語句の使い方について、上から目線の語感がする。たとえば、「〇〇すること」などがそれである。

【市政運営について】

意見

・リニア新幹線や、太陽光パネルの設置などは、はたして、住みごこち一番可児の住民にとって必要なものであろうか。

・マーノの建設や、駅前広場の整備や、東西自由通路の開通など、新設や、既存の施設に手が加えられているが、古い駅舎を温存利用するなどしたほうが市民にとって良いと思う。

・災害対策は、可児市社会福祉協議会によるところが大きい。

・可児市の経済の持続的な繁栄を願うにあたり、観光経済と銘打った限りは、腰を据えて事業に取り組んでほしい。

【福祉について】

質問1：地域包括ケアシステムの6拠点はどのようにして場所を選択したのか。

回答1：既存の施設の利用など総合的な判断によるものである。

<3グループ> 報告者 亀谷光 記録者 富田牧子

【地域の道路について】

質問1：桂ヶ丘から小中学校に通うのが遠くて大変だ。桂と櫛の道路にふるさと納税を使って橋を架けるといった話があったが、どうなったか。

回答1：我々では、その話は分からないので答えられない。

【災害・防災について】

質問1：桜ヶ丘は高台なので水の心配はないが、地震が心配である。しかし、安心しきっているのか、対策が取られていない。

回答1：市で研修を行っても、参加率が低い。

質問2：昨年の自治会長研修会は防災がテーマで、参加してとても勉強になった。同じテーマで毎年やればよいと思う。避難所運営ゲームなど毎

年、やるとよいと思う。

回答2：議員でも防災士の講習を受けて、大変勉強になった。1回受けると、防災が大事だということが良くわかる。

<4グループ> 報告者 可児慶志 記録者 川上文浩

【防災無線について】

意見：防災無線は必要だ

【財政について】

質問1：可児市の市債は。

回答1：一般会計で221億9千万円です。平成31年度末では4億円減です。

【暑さ対策について】

質問1：小中学校の空調の設置状況は

回答1：議会からの提言などにより普通教室はすでに済んでおり、今年度は幼稚園保育園に設置する。

【子どもについて】

質問1：市内の子供の数は。

回答1：市内では子供の偏りがあり広見、今渡、下恵土、土田、川合地区で増加している。桜ヶ丘はゼロ歳児36人だ。また桜ヶ丘などはUターンが増えている

【防犯について】

質問1：3月25日に桜ヶ丘小学校の児童が不明になった事例があった。団地内に防犯カメラ少ないのは問題だ。

回答1：議会としても一般質問などで意見を言っている。自治会への補助：制度など議会内で議論を進めていきたい。

【災害対応について】

質問1：水害は無縁、地震については水道、下水道、電気。ガスなどのライフラインの確保が問題。行政で指針を出してほしい。

回答1：地域防災計画など地域で行政とともに見直しをしてもらいたい。

質問2：地震発災後の計画は万全か

回答2：可児市地域防災計画にのっとり行政が動き機能回復と市民の安全の確保をするが、被災した熊本市の大西市長の言葉を借りると発災後の3日は市民自身で身の安全を確保してもらいたい。地域の受援力（援助を受ける力）が大切なので、地域で考えてもらいたい。

市民意見・情報が一方通行ではだめで双方向の情報交換・共有が必要。地域によって必要なものは違う。

考察

自治会加入率が高いエリアである。この議会報告会を自治会活動に活かしてみたいという理由での参加者が多く光栄である。

桜ヶ丘、臈ヶ丘をお見本にして、少子高齢化対策などを年齢構成が若い桂ヶ丘自治会は、まちづくりを進めようと努力している。貴重なご意見を沢山いただいた。

	<p>新年度がはじまって、地域活動がはじまったばかりであるが、民生委員等の人選については、自治会にとって大変な課題であると感じた。</p> <p>毎年苦勞していることなので、行政とタイアップした人選の方法などをご紹介できれば喜ばれると感じた。</p>
--	---

令和元年5月16日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会

桜ヶ丘 会場 班長 天羽 良明